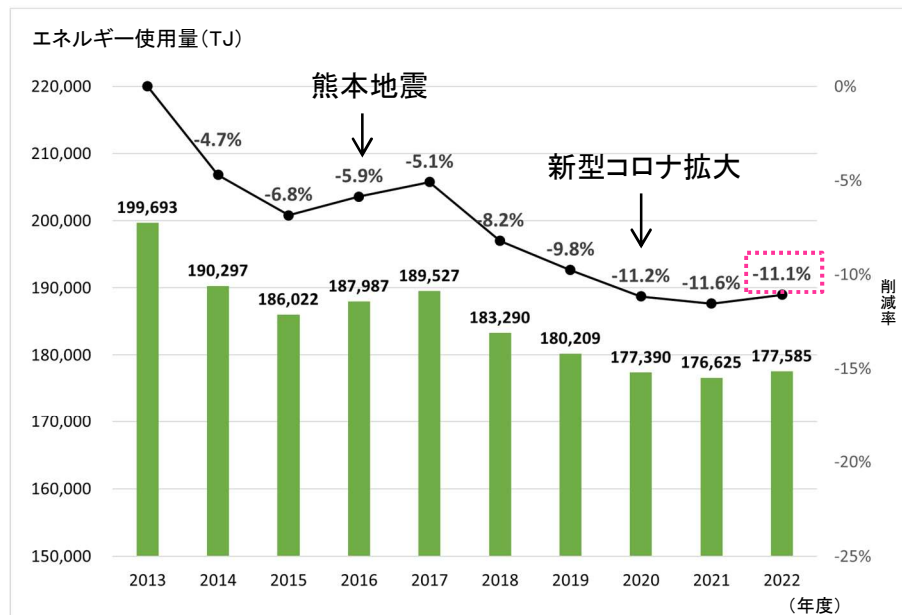


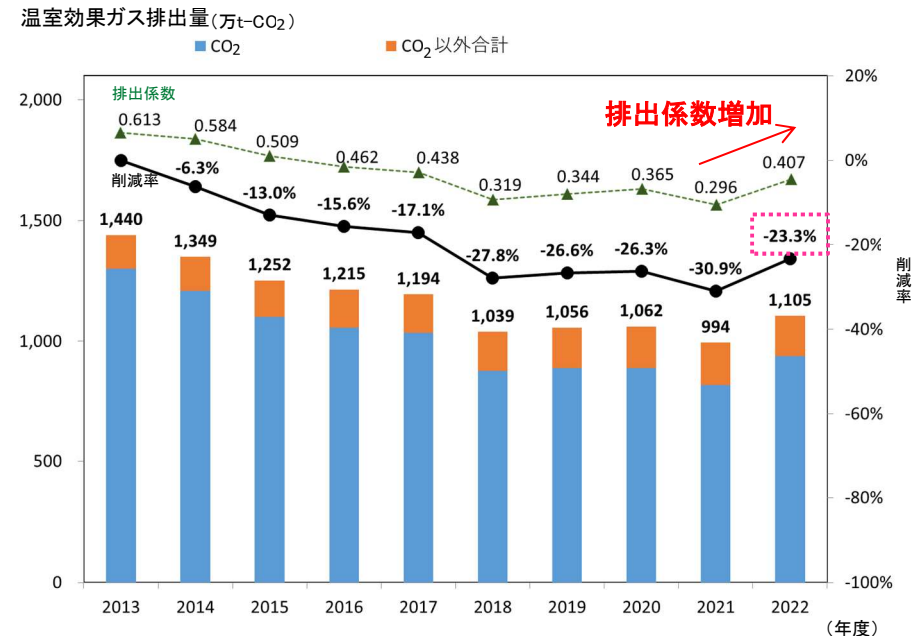
2022年度の本県の温室効果ガス排出量について

- ①2022年度の県全体のエネルギー使用量は、2013年度比11.1%削減。
(2021年度からほぼ横ばい)
- ②県全体の温室効果ガス排出量は、2013年度比23.3%削減。原子力発電所の定期点検等に伴い、電力会社の発電時のCO₂排出(排出係数)が増加したため、2021年度から増加。

①県全体のエネルギー使用量の推移



②県全体の温室効果ガス排出量の推移



本県の部門別の温室効果ガス排出量について

- 家庭、業務、産業の順に2013年度に比べ排出削減は進んでいるが、運輸及び廃棄物部門は増加。
- 排出係数の増加に伴い、電気の割合が多い部門の排出量は2021年度から増加。特に家庭部門はエネルギー使用量の約8割が電気のため、増加。

